

【一葉の魅力② [講義ダイジェスト] <1> チーム医療概論 糖尿病患者の症例をもとにグループ単位で合併症の可能性や適切な薬についてディスカッション】

2025/5/26公開



第一薬科大学で23日、薬学部薬科学科4年の学生らを対象に「チーム医療概論」が行われました。実習を控えた薬学科と漢方薬学科4年の事前学習に参加する形で行われ、糖尿病患者の症例をもとに合併症の可能性や適切な薬などについてグループ単位で話し合いました＝写真。

医学の進展や超高齢化に伴う人口構造の変化によって医療の複雑化が進んでいます。そんな中、最適な医療を実践するために医師や薬剤師、看護師ら多職種の連携や協働（「チーム医療」）が不可欠。それぞれの立場で考え方を共有し、考えることがこの講義の目的です。

この講義を担当している窪田敏夫教授によると、学生らはこれまで「がん」や「心不全」の症例をもとに患者への薬物療法について薬学の視点で検討、適切な薬物療法を立案してきたそうです。「学生に現状を知ってもらうためにもそれぞれの疾患について詳しい医療現場の先生方を講師に招いています」と窪田教授。

この日は、血糖値を調整する重要な役割を持つインスリンの不足または機能低下によって細胞に糖が正常に取り込めなくなり、慢性的な高血糖状態となる「糖尿病」について学習しました。

講師は上白水薬局（福岡県春日市）の薬剤師、山邊英美子さん。学生らは糖代謝や1型・2型の糖尿病などについて学んだ後、糖尿病患者の症例をもとに適切な薬などについてグループ単位でディスカッションし、発表しました。

山邊さんは「糖尿病というだけで『自己管理ができていない』『たくさん食べている』と判断されて就職などに影響して社会的不利益を被ることが問題になっています。そうした面も考慮して投薬の際や言葉づかいに気をつけてください」と説明。そのうえで「とくに糖尿病は医師や栄養士、看護師、ケースワーカーらいろいろな職種の方々と一緒になって治療していく『チーム医療』が重要」と話していました。



今回スタートした [講義ダイジェスト] では、数多くある講義のうち、とくに読者の方々にとってもためになりそうな内容の講義を紹介していきます。